

個性発信・話題の商品／ハカルプラス 無線機システム

ツイート シェア0 LINEで送る

(2019/8/5 05:00)



既存設備 手軽にIoT化

ハカルプラス（大阪市淀川区、三宅康雄社長、06・6300・2111）のIoT（モノのインターネット）向け無線機システム「HLR」の利用が広がりを見せている。2018年10月に発売し、既存の生産設備に手軽に後付けできることが顧客に評価される。

無線機システムは低消費電力で広域無線が可能な通信方式「LPWA」の一種「LoRa（ローラ）」を採用。制御盤などに無線機を設置し、電力計や圧力計、モーター電流などの信号をIoTゲートウェイに送信する。IoTゲートウェイに収集されたデータは、パソコンやタブレット端末などで監視できる。

最長5キロメートルまで無線通信が行え、複数の工場間でのデータ収集にも使える。「シリーズも順次拡充し、工場以外にも倉庫や農業のビニールハウスなど20、30社ほどに導入が広がっている」（坂口順一新規事業開発本部長）。同システムの19年度の売り上げは5000万円、20年度には1億円を目指していく。

**無線機システム
ハカルプラス**

個性発信
話題の商品

既存設備 手軽にIoT化

ハカルプラス（大阪市の淀川区、三宅康雄社長、06・6300・2111）のIoT（モノのインターネット）向け無線機システム「HLR」の利用が広がりを見せている。2018年10月に発売し、既存の生産設備に手軽に後付けできることが顧客に評価される。

無線機システムは低消費電力で広域無線が可能な通信方式「LPWA」の一種「LoRa（ローラ）」を採用。制御盤などに無線機を設置し、電力計や圧力計、モーター電流などの信号をIoTゲートウェイに送信する。IoTゲートウェイに収集されたデータは、パソコンやタブレット端末などで監視できる。

最長5キロメートルまで無線通信が行え、複数の工場間でのデータ収集にも使える。「シリーズも順次拡充し、工場以外にも倉庫や農業のビニールハウスなど20、30社ほどに導入が広がっている」（坂口順一新規事業開発本部長）。同システムの19年度の売り上げは5000万円、20年度には1億円を目指していく。